

# 雲りのすけ 青空

福井の女性キャリア相談記

代 幸 岡 松

18

「働くこと」は、なぜこんなにも大変なのだろうか。キャリア相談を受けていると、時折ふと思つことがある。それはまるで天気のように、青空のように楽しい毎日から突如土砂降りの雨に変わったり、どんよりとした曇り空がずっと続いたり…。なかなか自分の思い通りにならない。

Uさんは、小学生と中学生の子どもを持つ母子家庭のお母さん。朝から晩まで元氣よく動き回っていて、二人の子どもにとつて太陽のような存在。でも、Uさんは大雨の中、たった一人で踏ん張っていた…。

「4月にリストラされました。すぐにでも働かなければならないのに、なかなか再就職できません」と、苦悩の表情を見せた。Uさんの不安と焦りは想像に難くなかった。私は「どのような仕事を希望しているんですか」と問いかけた。「できれば土日休みの事務がいいです」。あれ、ちよつと意外な答え。がむしゃらになつ

## 再就職へ長い道のり

# 焦らず「晴れ間」求めて

て就職活動しているのでは？

「条件面で渋っている訳ではないんです。どんな仕事でも頑張る自信はあります。ただ、土日

は子どものスポーツク

びんな思いをさせたくないんです」

その後、Uさんの話を聴き、どんな条件で仕事

がしたいか、どんな仕事ができるかをじっくり話

し合った。そして、母子家庭の母親に関する情報

を提供しながら、Uさんの希望にピッタリの求人

がないか、一緒に確認していった。

「希望する条件を一つずつ確認していけば、ど

にはいきせんもね」とUさんから力強い答えが戻ってきた。「その

調子！ 歩みを止めなければきつと報われま

すよ。でも、無理はしないでください」。そう言

った私はUさんを送り出した。

3カ月後…。久しぶり

にUさんがセンターを訪れた。やや固い表情をし

ているUさんに、私は一瞬ドキッとした。もしや

いんですが、まずは仕事に就くことが先決だと思つて決めました。長い道のりでしたが、ようやくホツとしました」と言

うUさんは、安堵と喜びの入りに混じった笑顔を見

せた。

どんな激しい雨でも、降りやまない雨はない。

雨の後は、目にも留まらなかつた木々の葉がまぶ

しく見え、青空がいとおしく感じる。虹を見つけ

ラブのお世話があつて、無条件にどんな仕事でもいい、とは言いきれなく

て。つらいところですが、そしてこう付け加えた。「子どもには、ふ

んな仕事があつたのか分かってきますね。今までは、焦つて闇雲に面接を受けていました。よー私はいわあ、よかつたですわ」と歓声をあげた。

「第一希望の仕事ではな

たときはラッキーとさえ思つてしまつた。私たちはそんな毎日を繰り返している。

2009年8月、ふくい女性活躍支援センター

は3年目を迎えた。福井の女性が夢を、希望を持

ち続けている限り、センターはその実現に向け、

ともに歩みたいと願っている。(おわり)

(福井新聞社提供)



イラスト・多田くにお